



19飯国県第 15 号
平成19年 5月 8日

国土交通省 道路局長
宮田 年耕 様

飯田市長 牧野 光朗



中期的な計画の作成にあたっての飯田市意見について（提出）

日頃より、道路行政への御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。公共事業に対します予算が大変厳しい中で、格別なご配慮を頂き、深く感謝申し上げます。道路特定財源の見直しが昨年12月に閣議決定される中、今後の道路政策や道路整備・管理についての中期計画作成にあたり飯田市としまして、下記の意見、要望を提出致しますので、御検討の程をよろしくお願い致します。

1 要 旨

近年、国の財政危機による中央集権化の見直しと地方自治の成熟による分権論の高まりとが合致する形で平成11年に地方分権一括法が制定されるなど、制度の上から地方分権を推進する素地ができつつあります。そして、これを具体化するための地方行財政改革が国の行財政改革と連動する形で進められてきました。また、自治体財政においては、いわゆる「三位一体の改革」によって国庫補助負担金や地方交付税の改革と税源委譲とが行われようとしております。国の財政危機克服の道筋が具体化はまだしておりませんが、一層の改革が進められるものと考えられます。

一方、これら一連の改革は、国民一人ひとりにも新たな負担と役割を求めており、市民に直接対応する基礎自治体である市にも様々な影響が生じています。

地方自治体としては、この機会を捉えて真の地方分権をどう実現していくのか、また住民自治をどう進めていくのか、市民と行政が真摯に向き合いながら、あるべき姿を求め、創造する時代に入っています。

このような視点から私たちの地域を省みますと、大都市近郊のベッドタウンなどのようにその多くを「母都市」に依存できないような地理的立地条件にあることから、私たちの地域は、自らの力で可能な限り自立度を高め、持続可能性を高めていかなければなりません。

地域の中核都市である飯田市の脆弱性は、飯田・下伊那全体の持続可能性の低下に結びつくものであり、今後はこの「地域経済の活性化」と「自立度向上」を最優先に取り組む必要があると考えます。

「地域の自立と競争力強化」が実現されて、はじめて真の国際競争力が養われると思われれますので、今後の道路政策を進める上で「地域の自立と競争力強化」の分野を最優先事項として、政策決定されることを要望致します。

当市としましては、これらの政策を実現するための、根幹としまして、三遠南信自動車道の早期の全線整備に絶大なる期待をしているところです。

2 要望事項

長野県南信州地域、愛知県東三河地域及び静岡県遠州地域は、古来より密接な関係を保ちながら発展してきましたが、近年、地域間交流の主な手段が自動車交通となって以来、三地域間における道路網整備の遅れは、この地域の一体的な発展を図るうえで大きな障害となっております。それゆえ三地域を有機的に連絡する三遠南信自動車道は、関係地域にとって極めて重要な役割を果たすものと期待しているところです。

また、本路線は、供用中の東名高速道路や中央自動車道、さらに建設中の第二東名高速道路や調査中の伊勢湾口道路（三遠伊勢連絡道路）に連絡されることにより、第四次全国総合開発計画に示された新たな国土軸と連結し、枢要な地域連携軸を形成する重要な国土の基盤となるものです。

これまでに、矢筈トンネル、草木トンネルが相次いで開通することにより、関係地域では、就業機会の増加、生活利便性の向上、観光客の増加、そして何よりも命を守る医療機関への通院時間の大幅短縮と、整備による絶大な効果が現れております。

また、飯田市と浜松市はそれぞれ合併を行い隣接することとなりましたが、南信地域と太平洋ベルト地帯との交流・連携の促進のためにも、今後の早期全線整備が大いに期待されることです。以上に鑑み、三遠南信自動車道の整備促進のため、下記事項について強く要望致します。

記

- 1 受益者負担という制度趣旨に則り、道路整備を強力に推進するため、道路特定財源は一般財源化することなく、すべて道路整備に充当すること。
- 2 地方道路整備臨時交付金及び国庫補助金については、地域の課題に的確に対応した道路整備を機動的に進められるよう、引き続き必要な額を確保すること。
- 3 活力ある地域づくりや都市再生を推進するため、道路整備の促進を図るものとし、「社会資本整備重点計画」に基づき、国民の期待する道路整備を効果的かつ効率的に推進すること。
- 4 三遠南信自動車道の整備促進について
 - (1) 既に事業化されています飯橋道路、青崩峠道路、佐久間道路及び三遠道路の一層の事業促進を図っていただきたい。
 - (2) 飯橋道路の早期完成を目指し、天竜峡IC(仮)～喬木IC(仮)間について、用地買収の進捗を図っていただきたい。
 - (3) 青崩峠道路について、早期に事業着工を図っていただきたい。
 - (4) 国と地方の役割分担により、効率的なネットワークを早期に形成するため、国道152号の整備促進を図っていただきたい。